

# 平成 29 年度 新潟県小中学校 P T A 連合会 第 2 回理事会 議事録

日 時：平成 29 年 11 月 11 日（土）10：00～11：30

会 場：新潟市江南区文化会館 音楽演劇ホール

参加者：役員 5 名、監事 2 名、理事 24 名

## 1 開 会

事務局

## 2 会長あいさつ

平石会長

皆さんおはようございます。今日は朝早くから、江南区文化会館での理事会にご出席いただきありがとうございます。7月15日の第1回理事会から、大分経っていますが、日P全国大会仙台大会や日P新潟大会関係の会議に参加されている方も多く、久しぶりという感じがしません。県P研究大会、関プロ群馬大会にも多くの方からご参加いただき、来年の日P新潟大会に向けてのPRを無事終えることができました。本当にありがとうございました。

また、県P研究大会五泉大会では齋藤実行委員長をはじめ、五泉市P連の皆さんには大変お世話になりました。内容も素晴らしく、そのまま全国大会の分科会にしても恥ずかしくないもので、我々も感動しました。五泉市P連の皆さんからも、日P新潟大会に係わっていただければ、良いものができるのではないかと感じております。

今日は午後から、組織検討委員会と教育問題委員会との合同研修会を予定しており、理事会の時間をあまり長くとれませんが、安全互助会や中間会計監査の件など、いろいろあります。本日はどうぞよろしく願いいたします。

## 3 協議事項

議長 平石会長

### (1) 中間監査報告 … 資料1 参照

※資料訂正 資料1の平成30年9月30日を平成29年9月30日に訂正

加藤監事：11月5日10時から県P連事務局において、監事の熊倉、石田、加藤で、平石会長と事務局同席のもと、中間監査を行いました。諸帳簿、通帳等適切に管理されておりますし、支出も適切に行っていたことを確認させていただきました。

今後日P新潟大会に向けて、関係団体からのお金の出入りや経費按分、日P関係等、多々出てくると思います。日Pも会計基準が変わるということで、その辺も未だ固まっていない部分があるようです。精査しながら、今後に向けて対応していただければと思います。

今年度に関しましては、すべて適切に管理、施行されておりましたことをご報告いたします。

事務局：特別会計の関プロ会計積立金が少なくなっているが、今年度の繰入金をまだ繰り入れていないことと、新潟市P連との共通経費として2：1で負担することになっているが、新潟市P連から繰り入れられていないため、今後繰り入れて処理していく。

==質疑==

なし

### (2) 県P T A安全互助会の事業について … 資料2 参照 ・配布資料 参照

事務局

#### ① 郡市P連への助成（総合補償制度事務手数料等）

事務局：県P連の活動を支援するために互助会が立ち上げられたという趣旨をご理解いただき、各郡市P連・単位P T Aに戻られた時にそのことを伝えたい。

ア 県P連・新潟市P連 会員数の推移について

会員数では県P連:新潟市P連は2:1であるが、総合補償制度の加入率からみると約半々に近い割合となっている。

## ② 県P連・新潟市P連への助成

### ア P T A活動補償制度助成金（一般会計）

1世帯150円の会費を納めていただいている。一般会計で余剰金が出た場合、次年度の活動に役立てもらうために1世帯30円ずつを助成している。

会員数が減っているため、少しずつ助成金額も減っている。県P連や新潟市P連で一旦預かり、会員数が少ない郡市P連でも、全ての郡市P連から全国大会や関ブロ大会に参加できるよう、参加費等に充てる研修費として預かっている。

### イ 総合補償制度事務手数料

今年度は黄色い封筒で配付。いろんなプランがあるが、掛金総額の5%が事務手数料として戻り、各郡市P連への助成金として還元される。配付資料の郡市P連助成の概算を見ると各郡市の加入率等が分かる。平均加入率は県P連が7.3%、新潟市P連が11.4%となっているが、加入率10%を目指していただきたい。

10%を目指す理由は、掛金総額の5%が事務手数料で、各郡市P連へ助成金として還元されるので、多い方がよいし、保険内容にも大きな影響があるから。4月1日現在の加入者数が1万人以上であれば、次年度の保険の割引率が団体割引+ $\alpha$ で51%という最高水準の割引率となり、安い掛金で有利な補償となる。1万人を切ると割引率が下がるので、同じ掛金でも補償内容が下がることになる。児童生徒数が減ってきており、今年と同じ加入率だと1万人を切るかも知れないという危機的状況がある。

(配付資料の⑧の列を参照) 今年度は、県P連と新潟市P連の事務手数料は0%で、各郡市P連と区P連に事務手数料を100%戻すことになっており、例年11月頃に各郡市P連に振り込まれている。9・10月に掛金が引き落とされずに解除になった方がいた場合は、助成金も減額になる。また、途中解約があった場合も、掛金を返金しなくてはならないので減額となる。8月末現在のデータと考えていただきたい。

### ウ 広告宣伝料

広報紙等に県P T A安全互助会や総合補償制度の広告を載せることで、県P連と新潟市P連で合わせて250万円の助成をいただくお願いをしている。

### エ 安全普及啓発活動等助成金（申請）

今年度は、各郡市P連への研究推進事業助成金がないので、この安全普及啓発活動助成金を活用していただきたい。申請をして利用してほしい。

## ③ 今後の課題

### ア 会員数減少への対応

- ・4月1日加入者数1万人が重要になるので、加入者増への取組として、県P連では広報紙でのPR、学校担当者への周知・確認を、郡市P連では総会で会長がPRをし、保険会社による説明会を実施。単位P T Aでは、総会で会長がPRをする。
- ・3月中に申込みをいただいた方のみが4月1日からの保険適用の対象なので、来年度の募集について、新小学校1年生は1月中に配付し、例年4月に配付していた在校生分については、2月末に配布する予定である。

- ・締切日を3月20日までと遅らせて、4月1日から保険適用となるように募集する。
- ・4月1日から春休みの間や、小学校の新1年生が慣れない道路を通学したり、中学1年生が自転車で慣れない道路を通学したりで、危険な状況が見受けられることから、4月1日からの補償ができるように入会を勧める。

#### イ 見舞金支払いの精査

- ・夏休みのプール開放等、PTAとの共催が多くなってきている。慎重に精査している。

#### ウ 安全普及啓発活動の実施 … 資料3 参照

- ◎ 申請に偏りがある。多くの学校に利用してほしいので、今年度から申請は通算5回までとする。予算がなくなり次第、助成中止となる。

#### エ 一般会計での県P連・新潟市P連への助成金

- ① アの助成金は、29年度の共済会計の状況を見て決定する。
- ② 29年度は、研究大会助成として県P連100万円、新潟市P連50万円を追加助成

#### オ H30日P新潟大会への助成

- ① H29年度 共済会計より 広告協賛金 150万円
- ② H30年度 一般会計より 研究大会助成 200万円  
日P新潟大会参加者数の比率により 県P連140万円、新潟市P連60万円

#### ○ 各郡市P連からの加入状況報告

糸魚川市P連：単位PTAでは、資料配付と説明がされている。市P連の集まるタイミングと総会のタイミングが時期的に遅れているようなので、今後は意識して改善していく。

燕・弥彦P連：例年11月半ば過ぎに、各単位PTAの会長を集めた代表者委員会を教育委員会と開催しているので、今年はその場で、安全互助会の話を見せてもらおうと思っている。今年度は11月18日に開催されるので、安全互助会に入ったことによるメリットを単位PTAの会長に伝え、学校に持ち帰ってもらう。学校の事務局の教頭先生も多く参加されるので、今のうちから「ぜひ、PRをお願いします」という形で伝えようと思っている。

見附市P連：会長の代理で出席。春によく知ったという状態だったので、今年はこのタイミングで、会長を通して伝えたい。さらに、加入率を上げられるように、連絡していく。

加茂市P連：毎年2回、7月と2月に総会があり、今年度は、案内が届く2月に説明したいと思う。我が家は、他の保険に入っているからということだったが、来年度は1人でも増やせるよう頑張っていきたい。

十日町市津南町P連：アンケートをした結果、1年生に配付しなかった学校が1校あり、希望者がいないというのが多数の意見だった。郡市の正副会長会議において、加入率を見て「もう少し増やしていかなくては」という中で、ネット加入ができれば加入率が上がるのではという話があった。各単位PTA会長に「いい保険だよ」と教えていくのが、一つの方法だと思っている。

会長：私も以前、ネット加入について保険会社に話したことがあるが、安全互助会の仕組み上、県P連の事務局が全てやっており、直接のネット加入は今のところできない。仕組みが変われば、検討材料となると思う。現状は変わらないが、この方法で加入率を上げていただきたい。

新発田市P連：総会の開催月が6月なので、間に合っていないのが現状である。今年度は、1月に新年会を兼ねて各単位PTAの会長が集まる場がある。十日町市津南町P連がアンケートをとられたことを参考にして、そこで皆さんに周知していきたい。

南魚沼郡市P連：先月アンケートをとった結果、一人一人配付する学校もあれば、まとめて置いておき「個々で持って行ってください」という配付方法の学校もあった。各単位PTAの会長に周知して、お願いしていく。

もし可能であれば、映像で分かるようなDVDなどを作ってもらえれば、PTA総会などで流してもらおうと、保護者の方が保険の内容をもっと良く分かるのではないかと思う。

会長：今のご意見は必ず、来月の保険会社との打合せで伝えたい。

上越市P連：2月と4月に各単位PTA会長へ案内配付の依頼をしている。2月の新1年生の役員決めをする時にPTA会長が行って案内をしている学校もあった。中学校では、PTA総会にドンと置いてあるところが結構ある。参加者が少ないので、2月の理事会の時に中学校に対しては、全員に配付してもらうように手配している。

上越市では配付していない学校もあったので、理事会の時に必ず配付してくださいと念を押している。配付の仕方いろいろあるので、配布については徹底していききたいと思う。

長岡市出雲崎町P連：毎年4月に市P連の新旧理事の引継会があり、そこで保険の代理店の方から詳細について説明をいただいている。市P連の理事会の席では、県P連の役員の連絡事項等の時間を設けてもらっているので、時期的に必要な時に発信できている状況である。

私の学校のPTAについては、細かく説明をしているので伝わっている。市P連総会等の会長が集まる場で、同じ思いを各単位PTAに持ち帰ってもらえるかが、ポイントになると思う。

長岡市出雲崎町P連の総会では、時間をかけて安全互助会の話ができていないところがあるので、会員数も多い郡市P連でもあり、これを参考にして、数値が上がるように努めていきたい。

阿賀町P連：本日は代理である。加入率が悪いが、新1年生と在校生についての配付は行っている。新規加入者が少ない理由としては「希望者がいなかった」ということであるが、実際のところ、各学校での案内等の内容説明の仕方にばらつきがあると思われる。今後、内容についてもう少し詳細な説明を役員会等で具体的にしていかななくてはと感じた。

小千谷市P連：今年度4校が新規加入0であった。2校は、配付をしても加入が無かった。新入生が少なかったのが1校。もう1校は、他の保険制度にPTAとして加入していて配付しなかったとのことで、分かりやすい保険の方を選択したと思われる。こちらの保険に関しては、保険の専門家ではないPTA会長が総会等で説明をしてという形なので、メリットを伝えきれなかったと感じている。

三条市P連：各学校、PTA理事に一つ一つ説明をしてきている。学校の事務局の判断で、全員に配付、任意での配付、希望者のみに配付と様々である。

説明をしていく中で、PTA活動補償制度と総合補償制度がごちゃ混ぜになり、勘違いをしている学校があった。一部のPTAの方は、学校に入ったら総合補償制度に入るものと思って加入している方もおられた。24時間の子どもの補償、家庭にかかる総合補償制度は、任意だがいい保険であると伝えると、任意の部分が際立ち、各保護者が自分で加入している保険で対応できているからということであった。

認知はされているので、各団体や組織でのメリットを詰めていかないと、思いが伝わらないと思う。助成金等での還付があった時に、県P連からではなく、郡市P連から各単位PTAに補助をしていくという体制をとることで、身近で恩恵があると気づいてもらえるのではと思う。

五泉市P連：県P研究大会五泉大会の開催に向けて集まる機会も多かったが、大会内容等の話で終始し、総合補償制度の話をする機会がなかった。ただ、2月に新旧のPTA会長が集まって引継ぎ等をやる会議がある。総合補償制度については、知っている人と知らない人がいるので、会議が始まる前にきちんと話をさせてもらった。

各学校にアンケートをとって状況を確認したところ、2月と4月に配付したところと、学校によっては4月にまとめて配付となり、タイミングが遅れてしまったところもあったようだ。

加入に関しては、強制ではないので加入しなかったという意見が多く、他の保険に加入しているから加入しなかったという意見もあったので、場を設けて総合補償制度に加入することのメリット等を伝え、新年度、加入率を上げる工夫をしなければいけないと考えている。

村上市岩船郡P協：郡市単位においては、年に何度か開催される理事会の場で、県P連での話をする機会があり、新規加入が5人以下の学校はこの地区に何校と伝え、加入を勧めている。

年に1度、単位PTAの会長が集まる評議委員会で、総合補償制度の説明を周知している。

会長をしている単位PTAについては、PTA入会式で保護者に対し「こういう総合補償制度がありますので、ぜひご加入ください」と、総会においても出席者の方々に説明をしている。

柏崎市P連：アンケートをとったが、全校配付しており、たまたま希望者がいなかった。今年度は、2月24日に第2回評議委員会を開催する。招集メンバーは、単位PTA会長、副会長、各学校長がそれぞれ全員となっているので、今年は更に力を入れてメリットをPRしていきたい。今までも、会議の場での協議や、事務局たよりなどペーパーでのPRをやっているが、口頭でもお願いをしていきたい。

阿賀野市P連：全校全員に配付されているが、任意なので。PTA総会は、学校と一緒に運営会議となってしまうので、総合補償制度に時間を割いて話すことが難しい。PR文書でもいいが、封筒だと中を見なくてはいけないので、商業ベースで具体的にもう少し明確なものがほしい。県民共済等では、子どもが車に石をぶつけた時の補償はないので、そのあたりを具体化し強調して、事故等に対しても明確にすると加入が増えるのではないかと思う。

来週に単位PTA会があるが、柏崎市P連のように学校・校長先生と介しての運営会議が少なく、学校にも周知する機会がないので、市P連会議に持ち帰りたいと思う。

胎内市P連：各単位PTA会長、教頭先生が集まる評議委員会で、佐藤副会長から話をしてもらった。12月6日に評議委員会があるので、あいさつの時に総合補償制度のことを盛り込むようお願いをしている。個人としては、事務局や単位PTAの会長にメリットを話している。

4月に全校児童生徒に配布をしているが、新規加入者がたまたまいなかったか、他の保険へ加入していたかというのが現状である。

佐渡市P連：アンケートの結果、配付しなかった学校は、2月が4校、4月が3校だった。その理由については、他の同様の保険に毎年加入しているとか、PTA活動補償制度に全家庭加入しているので、必要性を感じないという意見があった。

総合補償制度について、PTA活動補償制度と混同しやすいので、もう少し分かりやすい説明をいただきたいという意見や、全県の加入状況等を教えていただきたいという話があった。

総会が2月に開催されるので、周知を促し、必要性を分かりやすく説明をしていきたい。

聖籠町P連：2月に新1年生に配付されており、4月には全校児童生徒に配付されている。やはり、PTA活動補償制度と総合補償制度の違いが分からない保護者が、多いのではないかという意見があった。総合補償制度は任意であり、PTA活動補償制度に加入しているから、加入しないという方も多いのではないかという意見だった。

我が家では、子どもが小学3年生の時の自転車教室の後に、学区内を自転車に乗れるタイミングで加入をしている。自転車に乗るようになる時期にアピールをしてはどうか。皆さんが集まる機会に、根気強くアピールしていく必要があると思う。

南蒲原郡P連：3校ある内の2校が、加入者0であった。理由としては、他の保険に加入しているとか、前回加入していて、骨折した時にいい保険だと感じていたが申込みのタイミングを逃してしまったとか、いろんな資料の中の一つで後回しになり、申込み期限が過ぎてしまったという話があった。

2月に集まる会議があるので、そこで話をして学校に持ち帰ってもらい、単位PTA会長から話してもらって、加入率を上げるように頑張りたい。

会長：今回のご意見を安全互助会の理事会並びに保険会社との打合せに報告をさせていただきたいと思っている。

総合補償制度は任意の保険であるが、保険の事務手数料が、各郡市P連に助成されている。今後は少子化で、各郡市P連の財政状況が良くなるとは思えない。この加入率を上げることにより、少しでも原資が増えれば、PTA活動の費用の一部になるのではと思う。そういった部分も考えていただき、ぜひとも本日お越しの理事の方は、各单位PTAの会長を含めて多くの方にPRをしていただき、PTA活動以外にも補償ができる保険としてPRをお願いしたい。

事務局：新年度に入ってから説明するのではなく、今年度中に総会や役員会で集まる機会があったら、保険会社が出向いて直接説明に伺うので、ぜひ呼んでいただきたい。

PTA活動補償制度との混同という話があったが、加害者になった時も支払われ、同居の家族の賠償責任補償もあり、割引率が51%と高く、安くていい保険であることをもっとPRしていかなければいけないと思った。

○ 安全普及啓発活動等助成金 … 資料3・4 参照

事前に申請・審査必要 … 申請書提出締切 12/28

毎年同じ内容で申請をしてくるところは、日付を変えるだけで申請ができる。申請書の作成が面倒だと思うかも知れないが、電話をもらえば似たような内容の過去の申請書等をお知らせする。

該当する活動事例として、心の安全・体の安全・食育等いろんなパターンがあり、4月当初に交通安全教室を行ったりすると思うが、それも事前申請でないと助成ができない。4月に入ってからでは間に合わないと思われるので、来年やることが決まっていれば、冬休み中に準備をしていただき、申請をいただければと思う。

県P安全互助会 廣上理事長：県P安全互助会の理事会で、郡市P連への助成金について、配分方法の変更によって今までの一律助成の部分がなくなったために、ほとんどの郡市P連は増えているが、小規模の郡市P連は少なくなっていることから、その辺りを手厚くできないかという意見がありました。しかし、今ほど事務局長が言ったように、別な方法での助成ができます。

今後、総合補償制度の加入率が30%から40%になっても活動費が足りないということであれば、別な方法も考えなくてははいけないと思います。糸魚川市P連が比較的加入率が高く、17%以上の加入率があった糸魚川市の当時の副会長に話を聞いたところ、ただ案内資料を配っただけだということでした。その後、能生町との合併があっても、県の中では高い加入率となっています。実際にいい保険ですので配っていただきたいということをお願いしたい。

来年度の手数料の配分も今年度と同様と決めたので、予算も組みやすいと思います。いろんな形で有効に子どもたちやPTA活動のために使っていただきたいと思います。

==質疑==

なし

(3) 「日P新潟大会」について

事務局

○ 大会ホームページ

10月下旬に開設されたが、まだ一部の内容に限られており、準じ更新していく。  
各郡市P連事務局に伝えてあるので、確認してほしい。

○ 大会記念バッジ

業者から見積もりを取って、発注をすませ、まもなく完成する。

1,000個作るので、県内に限らず全国の協議会会長にも配る。

- 記録部員報告（各分科会1名）… まだ未報告の分科会あり  
各分科会の代表1名から、県全体の部会に出てもらい、統一した取組をしてもらう。  
年明けに開催を予定しているが、未報告の分科会は11月中に報告してほしい。
- 広告協賛金活動 … 現在までの状況、留意事項（資料5参照）
- 各分科会の計画  
10月24日の日P理事会に、第1分科会から第8分科会の第1回目の上程を行った。特1と特2はまだ上程をしていない。日P理事会において、たくさんの指導をいただいたので、10月29日の臨時実行委員会や各分科会主管事務局にも伝え、提案書の見直しをやってもらっている。遅くとも、12月4日までにメールで再提出してほしい。  
各分科会から再提出いただいた提案書を担当の関係者に配信し、検討した結果を分科会事務局に返すという流れで、1月16・17日の日P三役会での2回目の上程を目指している。
- 全国大会引継会 平成29年12月5日(火) 13:00～日P事務局  
実行委員長・副委員長・各部の部長・事務局3名の合計11名が出席予定
- 第8回実行委員会 平成29年12月9日(土) 13:00～長岡市さいわいプラザ6階

会長：11月7日に日Pの役員と事務局の6名が長岡に来られ、私、田中実行副委員長、各部長、事務局とで会議をしました。広告協賛の部分で、神社仏閣については、勧誘をする広告でなければ問題は無いという回答をいただきました。お願いをされている方がいらっしゃったら、そのようにお伝えいただきたいと思います。

徳島大会で公営ギャンブルの広告掲載があった件については、日Pの方は、刷り上がってから分かったということで、本来なら承認されず、広告協賛を受けられません。もしお願いをしている方がいらっしゃったら、受けられないということでお伝えいただきたい。

日Pは、各分科会の提案書を私たちが考えているより細かい部分まで見ています。各分科会の提案書を早めに提出していただき、私たちの方でも確認をしてというやりとりを、日Pの1月の理事会までに頻繁に行えるようお願いしたいと思います。

大会の理念、『教育は未来を拓く 新潟発 米百俵の精神！』というスローガンから、全てが繋がっていく。分科会や全体会の会場であったり、分科会のテーマであったり、様々なところで全てに繋がっていくように考えていただき、再度詰めてもらいたいと思います。

事務局：いろいろ問い合わせをいただいています。あまり面識のない方から協賛金の話を受けたが、そういう大会があるのでしょうかという問い合わせがあり、HPにもありますと答えています。本日、仙台大会チラシと広報紙を持ってきたので、小中学生のいない職場への広報活動にご活用いただき、すばらしい大会がありますとPRをしていただければと思います。

==質疑==                      なし

(4) その他                      なし

#### 4 報告事項

事務局

##### (1) 各委員会からの報告

- 教育問題委員会    教育問題委員長  
当初長岡で開催予定だったが、新潟市江南区文化会館に会場が変更となった。地域連携をテーマにして、「いじめ見逃しゼロ」とつなげて、本日開催する。

実施計画にもあるが、基調講演を横澤富士子様に、実践発表は県P理事の内藤さんをお願いしてある。その後はパネルディスカッションとなり、日P新潟大会の分科会のリハーサルを兼ねて実施する。人の動き等、良い面・悪い面の情報を皆さんで共有して、日P新潟大会につなげられたらと思うので、ご協力をお願いしたい。

○ 広報委員会

広報委員長

県P広報紙第103号を9月17日に発行した。今回は8ページに増やし、広報紙コンクールの作品を多く掲載したり、三行詩コンクールの作品を初めて紹介したりと、視覚的に多く盛り込んだ内容になっている。

日P仙台大会の内容も大きく取り上げ、インタビュー形式で県P連と新潟市P連の両会長の声を生でいただき、皆さんに来年度の日P新潟大会を周知していただくようにと作成した。

2月発行の第104号のレイアウト案を持参したので、昼食時に広報委員会を開催する。

○ 組織検討委員会

組織検討委員長

本日の教育問題委員会との合同研修会実施計画に、役割分担等が書いてある。天候の悪い中、皆さんにご協力いただき、無事に合同研修会を終了させ、来年度の日P新潟大会への足がかりとなればと思うので、よろしくをお願いしたい。

(2) 県P研究大会五泉大会について

事務局・五泉市P連理事

10月7日、県P研究大会五泉大会を皆さんのお陰で、無事滞りなく終了いたしました。ありがとうございました。予定しておりました参加人数を超え、遠いところからのご参加ありがとうございました。平石会長からお話のありましたように、大会内容も皆さんに頑張ってください、アトラクション、実践発表、桑山様の「地球のステージ」へのありがたいご意見をいただきまして、日P新潟大会につなげられるかと思えます。

桑山様からもメッセージをいただきました。これからもメッセージが届くと思えますし、別の機会に「地球のステージ」への参加をさせていただきますし、皆さんも参加いただければと思います。大変ありがとうございました。

(3) 教育問題委員会・組織検討委員会合同研修会について … 研修会要項 参照

(4) 懇親会について

(5) その他

事務局

○ 日Pの三行詩コンクールに全国の協議会から10万点程推薦された中から、小学校の部でベスト4に南蒲原郡の長吉さんの作品が入った。ファミリーカレンダーの3月が長吉さんの作品ですので、ご覧いただきたい。各学校、各地区で勧めていただけるとありがたい。

○ 別紙参照 各学校・PTAで子どもたちの交通安全について、お話等を頼みたいということがあれば、長岡国道事務所他、各地区の担当者に問い合わせしてほしい。

5 関係団体・委員・構成員会議・大会等参加報告 … 資料6 参照

6 監事講評

石田監事

今日は朝早くから、大変お疲れ様でございます。

安全互助会の資料についてですが、先ほど各郡市P連の取組状況などを聞かせていただきました。



やはり、燕・弥彦P連さんのように、各単位PTAの会長が集まる時に、説明をするのが一番良いのかなと思います。

メリットについてです。そこで、なぜ総合補償なのか。年間3,000円の掛金で個人賠償金額が2,000万円まで支払われます。そこが違うところで、友達にケガを負わせたとか、友達の物を壊した時に2,000万円まで支払われます。年間3,000円で、同居している家族も、24時間その賠償補償に入ることができます。こんなにいい保険は、まず無い。ですから、そこをぜひPRしていただきたいと思います。

新1年生の保護者が説明を聞いたときに、「いい保険だな」と思って先輩に聞いても、先輩方の約9割の方が加入していないわけですから、そこで断念してしまうようです。今まではPR不足だったので、「先輩に聞いてもよく分かっていない」からと話をしていただき、加入を勧めていただきたいと思っています。

安全普及啓発活動については、再度資料3を見ていただきたい。自分の郡市P連、単位PTAの申請数を見ましたか。間違いなく単位PTAでは、必ず安全普及啓発活動をしていると思います。郡市P連の研究大会でも、安全に関する内容をしていると思います。助成金額は、各単位PTAで2万円、郡市P連で5万円です。これも各単位PTA会長に説明をしていただきたい。事業としては、危険箇所看板を立てるとか、のぼり旗を作る等の消耗品もOKです。各単位PTA会長にぜひPRしていただきたいと思います。

## 7 閉会のあいさつ

中嶋副会長

皆様、お疲れ様でした。今日はあいにくの雨となりましたが、ラッキーな雨とも考えられます。この後行われる教育問題委員会と組織検討委員会の合同研修会で、皆様には、次年度に行われる日P新潟大会で雨天の場合はこうなるのではないかとということを想定していろいろと活動をしていただきたいと思います。

また、懇親会に出られる方は、懇親会でも多いに語り合ってくださいと思います。本日はお疲れ様です。この後もよろしく願いいたします。